

デイサービス ひろがりサロン

第5号

発行日 : 2008年7月31日
発行回数 : 年2回発行
発行者 : デイサービスひろがりサロン
責任者 : 黒木まち子
連絡先 : 045-962-0603
活動場所 : 横浜市鴨志田地域ケアプラザ
2階 多目的ホール
活動日 : 月曜日(第3月曜を除く)

よろしくお願 いいたします

小 椋 純子

昨年三月、黒木さんからひろがりサロンのお手伝いを、と誘っていただきました。両親が老人ホームに入所して、私の生活も少し落ち着いてきたところだったので、気軽に返事をしたのですが、急遽実家の処分という大仕事を持ち上がり、今年の四月から参加させていただくことになりました。

詳しいことは何も知らず、上履きと昼食代五百円を握りしめて飛び込んだ初日、そこは温かな空気に包まれて、生け花の名人、料理の名人、体操の名人、いろいろな名人が、それぞれの持ち味をさりげなく発揮して、ゆったりと時が流れていました。そこに居る人たちは皆笑顔で、皆さんがこの場所が大好

きで、この日を楽しみにして来ているのだなということが、すぐにわかりました。初めて参加した私のことも、ずっと知り合っていたかのように、皆さん温かく迎え入れて下さいました。私にとって四回目のひろがりの日、六月二日はこどもの国への遠足でした。のんびり花を愛で、鳥のさえずりに耳を傾け、おしゃべりしながら園内散策、途中で植物名人からスイカズラの花の名前を教えていただきました。皆でいただいたお弁当やソフトクリームの味は格別。牧場で動物たちのおかしな光景に大笑いしたり、牛の背中を撫でたり、またハーモニカ名人の伴奏に合わせて、皆で歌ったことも新鮮な体験でした。

お手伝いを、と誘われて参加したのに、私の方が新しい出会いの場をいただき、楽しい経験をたくさんさせていただいています。

ひろがりサロン、それは利用者の方とスタッフ、それぞれの個性が集まって、温かな楽しい雰囲気を作っていく、共存の場なのかなと感じました。

この心地よい空間の中で、皆さんと楽しくお話ししながら、私も少しでもお役に立つことができましたら嬉しいです。どうぞよろしくお願いたします。

ひろがりサロンは「あおばふれあい助成金」を受給して活動をしています。

皆さんの協力に感謝します。

コトドリ

黒川よしかず

五月二十六日(月) 帰るなり

六月二日の遠足の予定表を開き、テレビのチャンネルを天気予報に合わせた。来週の月曜日は、未だ週間予報にも無いのに。

火・水・木曜日も天気予報をにらみ続けた。火水は晴れ、しかし台風四号が日本に向かってきている。遠足は？ 台風は木曜に通過して土日曜日は晴れ、この間まるで小学校の一年生の遠足の様にソワソワ、ウキウキして待っていた。

さて、月曜の朝起きて見ると曇り雨。さて遠足は行くのだろうか？中止だったなら九時までに電話が来ることになっている。八時五十五分、家内が「遠足は有るよね！」「九時までに電話来るよ」、また八時五十九分にも同じ様な事を言った。「まだ一分あるよ」と電話を待った。

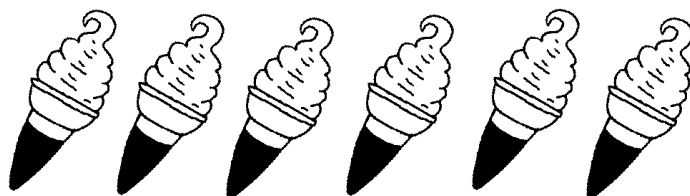
九時、電話は無かった。もう少し待って九時十分、電話無いので行くんだなと思った。

家でしばらく待つと九時三十分。ボタン、ボタンと車のドアの開まる音がし、Fさん、Kさんが見えていました。Fさんの車でこどもの国まで行きました。こどもの国に入りびっくりしたのは三十数年前と違って、山有り、川有り、林有りで気分の良い滑り出しだ。

昼食後、雨が降り、少し雨宿りして雨が上がったので、一時三十分ごろから歩き始めた。歩いたら三十年位前の北海道旅行を思いながら歩いていった。

牧場まで行くと、私の思いは完全に北海道でした。その後、ソフトクリームが美味しかった。その後、もう少し歩いて出口前の広場に集合。

私は、この遠足は最高の思い出になります。スタッフの人々にお世話になりました。本当に有難うございました。



活動予定

2008 / 4 / 7, 14, 28
2008 / 5 / 12, 26
2008 / 6 / 2, 9, 23, 30
2008 / 7 / 7, 14, 28
2008 / 8 / 4, 11, 25
2008 / 9 / 1, 8, 22, 29
2008 / 10 / 6, 13, 27
2008 / 11 / 3, 10, 24
2008 / 12 / 1, 8, 22
2009 / 1 / 12, 26
2009 / 2 / 2, 9, 23
2009 / 3 / 2, 9, 23, 30

ホームページ は次のところにあります。

http://www.geocities.jp/hirogari_salon/
http://aoba_portal.net/group/hirogari_salon/
Google で「ひろがりサロン」で検索できます。

利用案内

活動日時 月曜日(第3週を除く)10時～15時30分
活動場所 横浜市鴨志田地域ケアプラザ
対象 見守りを必要とする方(年齢制限なし)
料金 利用料 800円
食事 500円(昼食・おやつ)
プログラム 体操・ゲーム・昼食会・散歩・季節行事
その他 介護保険とは関係なく利用できます

利用者・スタッフ概要

利用者 9名(男性2名 女性7名)
スタッフ 23名(男性4名 女性19名)

ひろがれ 「ひろがり」

香月 博子

最近私はめつきり体力がなくなりました。老眼がひどくなり細かい字が読めない、物忘れはひどいし、体力にだけは自信があつたのに、すぐに疲れたり風邪をひいてしまつたりとあの体力はどこへ？と考えてしまうこの頃です。九六歳の母の年齢まで果たして元気で居られるか自信はありませんが、ともかく最後まで元気でいたいという母たちの気持ちがいやというほど理解できる年齢になつたのです。

九五歳になる三ヶ月前まで一人で暮らし、家事や近所づきあいもしつかりこなしていた母でしたが、やはりこれ以上は周りの人たちに心配をかけると判断したのでしょうか、二〇〇六年十二月より横浜の住人となりました。初めの半年はとても元気で一人でスーパー三和まで買

い物に行き、アサリの味噌汁や魚の煮付、ポテトサラダなどを作ってくれましたが、二〇〇七年八月頃からだんだん色々なことに興味を示さなくなりました。毎日楽しみに観ていた「みのもんたさん」や「歌謡ショー」などのテレビ番組、健康に関する本」を読むこと等もなくなりましたし、外出も嫌がるようになりました。足が衰えるからと思ひ散歩に誘い出しても、疲れるからとすぐ帰りがたがるようになりました。こうなると、本人はもとより家族も困るようになりました。母を毎日どう過ごさせたらよいか、CDを買つてきて一緒に大きな声で歌つたり、洗濯物をたたんでもらつたり、テレビを観たりしてみるのが一日は長いのです。いつも「

と思つていたところ、ふとこのことを話した知人から「ひろがりサロン」のことを教えて頂きました。その人は「親切にもひろがり」の新聞をわざわざ家に届けてくださいました。そこに載つていた黒木さんの電話番号に早速電話をしました。突然の電話にもかかわらず、すぐに受け入れてくださり本当に有難く思いました。そして母のことを親身になつて心配してくださいました人の優しさが身にしました。母が「ひろがりサロン」に慣れるまでにはすこし時間がかかりましたが、今では月曜日を心待ちにするようになりました。ときどき第三月曜日の休みの日に行つてしまい、がっかりして戻ることもあります。……。

「ひろがりサロン」の終わる時間に迎えに行くと、ニコニコ顔で二階から降りてきて「ありがとう。ありがとう」と言ってくれます。このにこやかな笑顔を見るのが楽しみです。家に帰つてから、今日は何をしたの？と聞いても細かいことはよく覚えてはいませんが、うさぎおいし（最後に歌う『ふるさと』のこと）を歌って楽しかったとか、お昼ごはんがおいしかったとか話してくれます。

その後、介護認定を受け、一階のデイサービスにも通えるようになり、母はその日を楽しみにしています。

こんな楽しい時間を作つてくださっている、ひろがりサロン」やデイサービスの方たちに心から感謝いたします。そして参加したい人が誰でも参加できる「ひろがりサロン」はすばらしいと思います。これからもっともつと広がっていくように願っています。



博子さん自身もスタッフとして参加されるようになりました。

デイサービス

ひろがりサロンに参加して

木村 勝亮

私は、鴨志田ケアプラザの男の料理教室に通い始めた頃、ひろがりサロンの黒木さん【料理教室のアシストをされていていました】にお声を掛けて頂き、軽い気持ちでこのサロンを見学しました。自分自身を振り返りますと、デイサービスの内容も充分理解しないまま、このひろがりサロンに参加したのは、ちよつと軽率ではと反省しております。

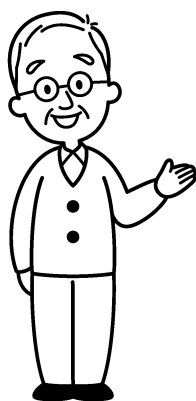
何年か前に、右肩を骨折し、その後手術に失敗して、肩の痛みの為サラリーマン人生にピリオドを打ち、リハビリに約3年間かかり、最近に至り、漸く仕事以外の趣味か、遊びに関心が向くようになりました。

最初は、家内からの自立を目

指して、料理にチャレンジしましたが、料理の成果もあんまり発揮しないまま、現在に至って居ります。

このデイサービスは私みたいな経験不足、覚悟不足の人間でも大丈夫かなと思いつつ、自分には全くの未知の分野であり、新しい経験に驚きながら、あつという間に二 三ヶ月がたちました。この間、利用者の方々の触合いと、ひろがりサロンのボランティアの皆さまとの共同作業に感謝しております。

まだまだたらざる点は幾つもあります。皆様のご指導とご鞭撻の程宜しく御願ひ申し上げます。



ひろがり歌壇

終戦後

ひさ子

終戦後、物無き時に建てし家

戦後を生きし証なり

今日一日出逢ひ楽しく過ごししを

二人で同じ喜びに湧く

青々と澄みわたる空を見あぐるに

ときには心中灰色の日もあり

間違ひを指摘されても笑む夫の

心のひだは妻のみぞ知る

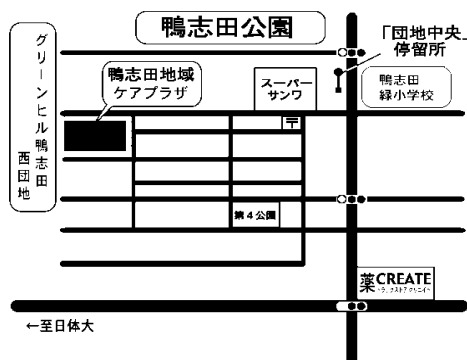
夫留守の寂しさ一日机上にて

頭の中はまづ短歌思ふ

デイケアの集いの中で笑ひもらひ

今日も楽しく思ひ出抱きて

ひさ子さんはご夫妻で参加されています。



*** 編集後記 ***

* 会報「ひろがりサロン」の五号が皆さんの協力で出来ました。

* この号はスタッフ、利用者両者の作品を載せることが出来ました。

* これから遠足以外の行事がありそう楽しみです。

(高山)